

海外研究助成成果発表会

チュラロンコン大学: 第10回研究助成成果発表会

日時 平成14年5月31日(金)9:00~15:30

場所 中央講堂 コンファレンスルーム 202号室

テーマ「材料科学と薬用植物—未来へ向けての技術」

開会にあたってタチャイ・スミッツ学長の挨拶に続き、旭硝子財団瀬谷理事長、続いてソングクラム大学庁事務次官が祝辞を述べました。バンコク近郊の大学・企業の研究者およびタイ駐在の日本人も含む約100名の出席者が熱心に聴講し、熱のこもった質疑応答がなされました。

「材料科学」セッション: 9:30-12:05 a.m.

(1) 旭硝子(株)中央研究所 吉武優主幹研究員

基調講演「日本の化学企業における機能膜技術」

(2) 同大学工学部原子力工学科 ビシット・サウィープラングスリポン博士

「オーステナイト系ステンレス鋼の分別に関する超音波分光分析」

(3) 同大学工学部化学工学科 ウィット・スーンタラナン博士

「アニオン膜を用いた電氣的鉛析出プロセスの改善」

「タイの薬用植物」セッション: 13:00-15:20 p.m.

(4) 同大学薬学部薬学科 カーニット・スワンボリルー博士

基調講演「タイ海洋生物から得られる天然生理活性物質」

(5) 同大学理部化学科 ウドム・コクポル教授

「タイ植物の生理活性物質」

(6) 同大学薬学部薬学科 キティサック・リキットウィタヤウィッド準教授

「植物によるチロシナーゼ阻害剤」

